

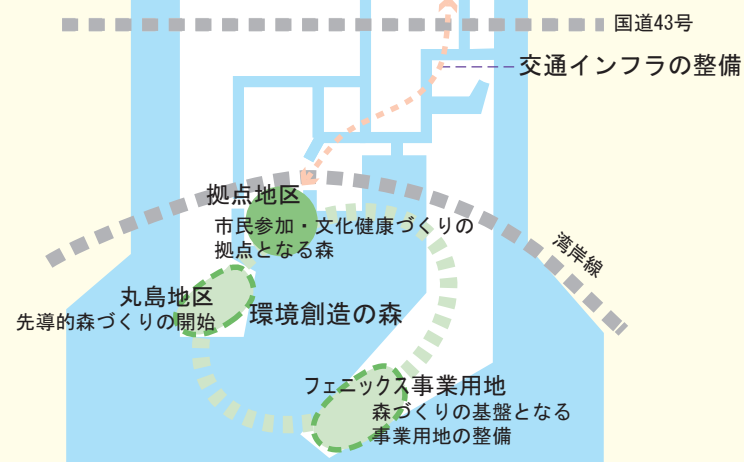
6 段階的整備

● 段階的整備のイメージ

尼崎21世紀の森構想は21世紀を時間軸とし、長期的な取り組みで行う一大プロジェクトです。
このため陸域と海域とを一体化させ「森と水と人が共生する環境創造のまち」を最も演出できるエリアとして

拠点地区、丸島地区、フェニックス事業用地を先導整備地区として位置づけ、この地区の重点的整備により、地域全域に波及させていきます。

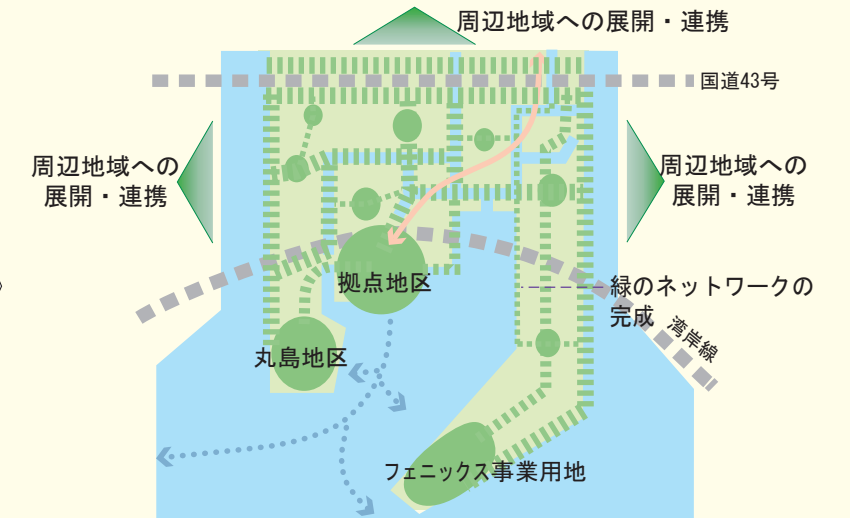
先導期 (0~10年後)



展開期 (11~20年後)



概成期 (21~50年後) ~ 成熟期 (51~100年後)



● 先導整備地区の整備イメージ



● 拠点地区の基本的な考え方

先導整備地区の中でも臨海地域のほぼ中央に位置し、市民の憩いと交流の場として最適である拠点地区をパイロットプロジェクトと位置づけ、
・大阪湾ベイエリアにおける新たな環境創造拠点
・多核ネットワーク型都市圏を形成する新しい都市核
・尼崎21世紀の森づくりの先導拠点
として整備を進めていきます。

